



2023年4月10日

報道関係各位

株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ

ザ ロイヤルパークホテル 京都三条

エントランスアプローチに光のアート作品「光り織」を設置 四季の移ろいを二十四節気ごとに襲色目（かさねいろめ）で表現 —開業12周年にむけエントランス・ロビーの改装が完了—

今年で開業12周年となるザ ロイヤルパークホテル 京都三条（所在地：京都市中京区中島町74、総支配人：川口 泰宜）は、客室の改装とコンセプトルーム新設に続き、ホテルエントランスとロビーを改装いたしました。改装後のロビーには常設のアートギャラリーを設け、エントランスに新たに設置した光のアート作品「光り織」は、ゲストをお迎えするアプローチを古からの光で彩ります。



4月5日からのプログラム「清明」

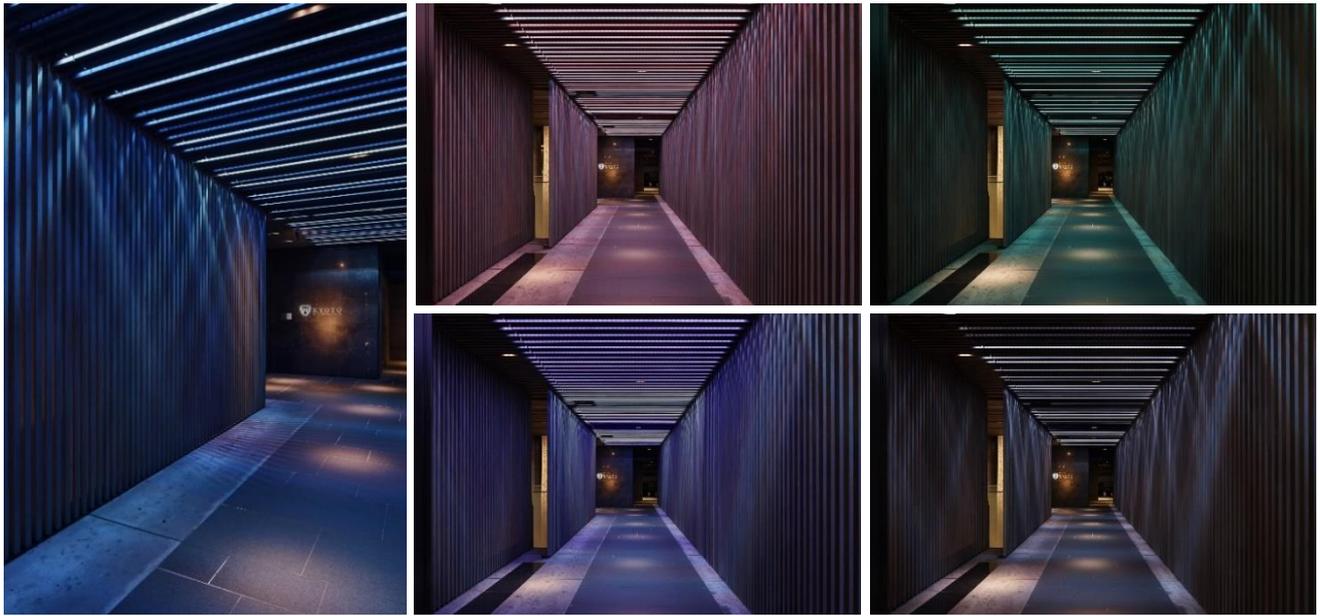
■ホテルエントランス 光のアート「光り織」

京都市在住の美術家高橋匡太（たかはし きょうた）氏による光の作品「光り織」は、格子の天井や壁面にまるで糸のような細い光を織り込むことで、糸が織物を紡ぐように、光で空間を紡ぎ「光りの織物」を作り上げています。古く平安の人々が京都の四季の移ろいを絹衣の色を組み合わせで表現した「襲色目（かさねいろめ）」が二十四節気ごとに反映されており、その光の色合いを通じて季節の変化を感じることが出来ます。

4月5日からのプログラム「清明」は、山吹の襲（やまぶきのかさね）＜青×黄＞。清浄明潔の略と言われる清明は、全てのものが清らか生き生きとする頃。桜のあとに咲く山吹は、目の覚めるような黄金色で春から夏への移ろいを導きます。数ある山吹の襲より青い葉の間から山吹の花が覗く情景を配色した青山吹の襲が表現されています。



THE ROYAL PARK
KYOTO SANJO



©高橋 匡太 撮影者：村上 美都

季節の自然の美しい彩りを少し先取りしながら衣装に取り入れていた平安宮中の人々の感性。季（とき）を尊ぶ襲色目には規範があり、着用に対応し時期が決められています。現代にも通じる季節の色の理解、配色の感性を用いて、京都の自然の移ろいととも季節の景観になじむ光を作ります。

*季節ごとのプログラムは、別紙参照。

<ライティングプログラム>

毎日 17:00~22:00 ※プログラムは予告なく変更する場合があります。

高橋匡太（美術家）<プロフィール>

1970年京都生まれ。京都在住。1995年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。

光や映像によるパブリックプロジェクト、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。京都市京セラ美術館、東京駅100周年記念ライトアップ、十和田市現代美術館など建築物へのライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたね」、「ひかりの実」、「ひかりの花畑」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。

受賞歴

- 2022年 日本空間デザイン賞 KUKAN OF THE YEAR 2022
- 2021年 第34回京都美術文化賞、照明学会 2020年照明普及賞
- 2020年 日本建築美術工芸協会賞 AACAA賞（最優秀賞）
- 2018年 日本建築美術工芸協会賞 優秀賞および美術工芸賞
照明学会 照明デザイン賞審査員特別賞、照明学会 2017年照明普及賞
- 2015年 DSA 日本空間デザイン賞 2015 優秀賞
- 2010年 京都市芸術新人賞
- 2008年 京都府文化賞 奨励賞
- 2005年 平成17年度五島記念文化賞 美術新人賞、京都府美術工芸新鋭選抜展 2005 最優秀賞



THE ROYAL PARK
KYOTO SANJO

■ロビーアート

改装後のよりシックな雰囲気のリビーには、アート・工芸作品のプラットフォーム「B-OWND（ビーオウンド）」による常設アートギャラリーを設置。ギャラリーには京都で活躍するアーティストの作品を中心に、日本の美を表現するアートとしての工芸作品を展示しています。

ホテルのコンセプトである「街と、もてなす。」に沿い、京都の魅力とおもてなしの精神を表現するとともに、「旅」「ホテル」というキーワードも取り入れて、ホテルを訪れたお客さまの旅、そして人生を豊かに彩る作品が並びます。また、各展示作品のそばに設置された二次元バーコードからは解説ページへアクセスでき、各作品へのホテルの思いや、アーティスト・作品についてより深く知ることができます。

なお常設ギャラリーのプロデュースおよび作品のキュレーションは、B-OWNDとして初の取り組みとなります。



<B-OWNDについて>

2019年5月よりサービスを開始した、日本の美を表現する最高峰のアートとしての工芸作品を取り扱うオンラインマーケット。アーティストと作品を丁寧に紹介することで、作家と購入者を繋ぐ場としてのプラットフォームを目指しています。また、B-OWNDでは、ブロックチェーンによるデジタル作品証明書付きの作品を購入することができます。

※画像はすべてイメージです。

ザ ロイヤルパークホテル 京都三条

所在地：京都市中京区中島町74（地下鉄東西線「京都市役所前」駅より徒歩約3分）

開業日：2011年10月8日

ロイヤルパークホテルズでは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対策として、お客様・従業員の安全・安心な環境を守るため、感染予防・感染拡大防止策を講じております。詳細は、ロイヤルパークホテルズのホームページをご覧ください。<https://www.royalparkhotels.co.jp/COVID-19.html>

本件に関するお問合せ先
株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ
ザ ロイヤルパークホテル 京都三条 広報担当：小田島
TEL：075-241-1111(代表) FAX：075-241-1139 E-mail：mktg-kyoto@rphs.jp
URL：<https://www.royalparkhotels.co.jp/the/kyotosanjo/>

光り織 | The Royal Park Hotel Kyoto Sanjo

光の演出パターン | 二十四節気の襲色目

春	夏	秋	冬
立春 紅梅	立夏 卯の花	立秋 撫子	立冬 移菊
雨水 柳	小満 菖蒲	処暑 萩	小雪 枯野
啓蟄 萌黄	芒種 若苗	白露 桔梗	大雪 氷重
春分 桜	夏至 水色	秋分 菊	冬至 錦 (にしき)
清明 山吹	小暑 二藍	寒露 青紅葉	小寒 松竹梅
穀雨 藤	大暑 女郎花	霜降 樺紅葉	大寒 雪の下

二十四節気のシーンプログラム | 春

01 立春 / 2月上旬～



紅梅の襲（紅梅 x 蘇芳）

旧暦の新年の頃にあたる立春。

この頃になれば、京の町中では梅が一輪匂い始めます。

迎春の喜びを紅梅の襲色目に込めて。

02 雨水 / 2月下旬～



柳の襲（しろ x 薄青）

雨水とは、雪氷とけて雨水となる頃を迎え少しづつ春を感じさせる時期です。

猫柳の枝に芽生えた白いうぶ毛と葉の色を配する柳の襲色は、早春を感じさせます。

03 啓蟄 / 3月上旬～



萌黄の襲（萌黄 x 青）

冬ごもりをしていた虫たちが地上にでてくる頃となり本格的な春までもう一息。早春に芽を出した若草が萌えいずる姿を表した萌黄の襲色目。古くより若者を象徴する色目ゆえ、新たな門出へのエールを込めて。

04 春分 / 3月下旬～



桜の襲（しろ x 赤花）

昼と夜が同じ長さになる春分の時期は二十四節気の大きな節目のひとつ。古来、人は桜を愛で、数々の歌を読んできました。

それは桜の襲色目が実に多いことからもうかがえます。

中でも最も象徴的な色目を選びました。

05 清明 / 4月上旬～



山吹の襲（青 x 黄）

清浄明潔の略と言われる清明は、全てのものが清らか生き生きとする頃。桜のあとに咲く山吹は、目の覚めるような黄金色で春から夏への移ろいを導きます。数ある山吹の襲より青い葉の間から山吹の花が覗く情景を配色した青山吹の襲を選びました。

06 穀雨 / 4月下旬～



藤の襲（薄色 x 萌黄）

春の雨は、農作物にとって恵みの雨です。

穀雨は種まきの目安とされて来ました。

四月も半ばを過ぎて、おおかたの桜が散り、山吹、躑躅が咲き誇ったあと、藤の花に主役がやってきます。

二十四節気のシーンプログラム | 夏

07 立夏 / 5月上旬～



卯の花の襲（しろ x 青）

気持ちのよい五月晴れがあり、次第に夏めいてくる季節。暦の上での夏の始まりに「卯の花」の襲を選びました。野原や岸辺で小さな白い花をいっぱいにつける卯の花は、目立たない花ですが、昔の人はこの花が咲くことで初夏の訪れを知りました。

08 小満 / 5月下旬～



菖蒲の襲（二藍 x 萌黄）

小満とは、いのちが次第に満ち満ちてくるころのこと。旧暦の「端午の節句」に邪気を払う習わしにちなんで、菖蒲の襲を。諸説ある中でも、実際の花と葉の色に近い二藍 x 萌黄を選びました。

09 芒種 / 6月上旬～



若苗の襲（淡木賊 x 淡青）

芒種のころは昔から田植えの時期とされてきました。田植えの時期にちなみ「若苗」のかさねを。

10 夏至 / 6月下旬～



水色の襲（浅縹の濃淡）

夏至に至ると書いて夏至。一年でもっとも昼が長くなり夏至からは日に日に暑さを増して行きます。京都の蒸し暑い夏に一服の清涼感を「水色」にこめて。

11 小暑 / 7月上旬～



二藍の襲（藍 x 秘色）

小暑には梅雨が明けて本格的に夏になります。二藍の襲は通年の色目ですが、平安貴族男子の夏の日常着である直衣（のうし）が二藍であったとされることから。色目によって少しでも暑さを和らげる宮中の人々に思いを寄せて。

12 大暑 / 7月下旬～



撫子の襲（紅 x 淡紫）

一年のうちでもっとも暑いころ。夏から初秋にかけて長く咲き続ける撫子の花は、「常夏」の古名を持ちます。「常夏」は季語では夏にとらえられることからこの時期の襲を選びました。

二十四節気のシーンプログラム | 秋

13 立秋 / 8月上旬～



女郎花の襲（経青緯黄 x 青）

立秋とは初めて秋の気配がほの見えるころ。
暑い盛りですが、これ以降は夏の名残の残暑です。
夏の終わりを告げるがごとくに咲く女郎花は秋の七草のひとつです。

14 処暑 / 8月下旬～



萩の襲（紫 x しろ）

処暑の頃になると少し暑さもやわらいできます。
草かんむりに「秋」と書くことから「萩」は日本人にとって格別強く秋の風情を感じさせる花で、万葉集にも多く詠われています。

15 白露 / 9月上旬～



桔梗の襲（二藍 x 濃青）

白露とは、大気が冷えて来て露を結ぶ頃のこと。
秋の七草の桔梗の襲が、本格的な秋の訪れを感じさせます。

16 秋分 / 9月下旬～



菊の襲（しろ x 黄 x 青）

秋分は、春分と同じく昼夜の長さが同じになる日。ここから次第に日が短くなります。旧暦の九月にあたるこの頃は別名「菊月」と呼ばれるほど、菊の花が咲き乱れます。また、旧暦の九月九日は重陽の節句、別名「菊の節句」と呼ばれます。

17 寒露 / 10月上旬～



青紅葉の襲（青 x 蘇芳）

露が冷たく感じられてくるころ。
空気が澄み、夜空にさえざえと月が明らむ季節です。
秋になり漸く色づきかけてきた木々の葉の色を象った色目である青紅葉の襲を選びました。

18 霜降 / 10月下旬～



紅葉の襲（黄 x 蘇芳）

朝夕にぐっと冷え込み、霜が降りるころ。
東山も晩秋になり赤く色づきます。
黄葉の黄と紅葉の赤、いかにも秋らしい紅葉の襲です。

二十四節気のシーンプログラム | 冬

19 立冬 / 11月上旬～



移菊の襲（紫 x 黄色）

冬の気配が山にも里にも感じられてくるころ。

冬に近づき、白菊が雪や霜にあって花の周囲から段々と紫色に変化しているところを表した色目が移菊の襲です。

平安人の繊細な色彩感覚と美意識が伺われます。

20 小雪 / 11月下旬～



枯野の襲（淡香 x 青）

寒さが進みそろそろ雪が降り始めるころ。

「枯野」とは草の枯れてしまった冬の色無き野原を象った色目です。

21 大雪 / 12月上旬～



氷重の襲（しろ x 鳥の子）

いよいよ本格的に雪が降り出すころのこと。

氷のイメージを写そうと意図された襲色目です。

鳥ノ子紙のわずかに黄味を含んだ灰色勝ちの白と、純白という同じ白色系の微妙な色味で表現しています。

22 冬至 / 12月下旬～



錦（黄金の濃淡）

一年で最も昼が短く夜が長いころ。

錦は金糸などで模様を織り出した錦織りを光の濃淡で表現した色目。古代の襲色目にはありませんが、クリスマスや大晦日など現在の年の瀬を迎える色目として。

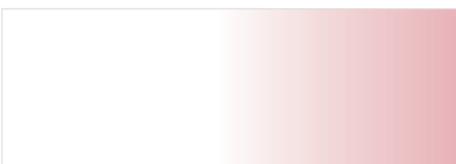
23 小寒 / 1月上旬～



松竹梅の襲

小寒は寒さが極まるやや手前のころ。彩りの無い厳しい冬に、常磐の緑の松、風雪に耐えまっすぐに伸びる竹、雪が積もる寒気に花咲く梅。寒の時の友として「歳寒三友」と呼ばれる松竹梅を新暦の新年の祝いに相応しい色目として選びました。

24 大寒 / 1月下旬～



雪の下の襲（しろ x 紅梅）

一年で最も寒さが厳しいころ。

日が次第に長くなり、春へ向かう時期でもあります。

雪に埋もれた早咲きの紅梅の花を表した色目で、遠からぬ春を知らせます。